

令和7年度 北海道旭川高等支援学校グランドデザイン

令和7年4月1日

校訓	学校教育目標 (目指す生徒像)	基本理念 (目指す学校像)
しなやかな心 やりぬく力	たくましく社会を 生き抜く生徒を育てる	共生社会を担う 人材の育成

<p align="center">育成を目指す資質・能力</p> <p>1 社会や生活で生かせる知識及び技能を育てる。【知識・技能】 2 柔軟な思考力・善悪を誤らない判断力・豊かな表現力を育てる。【思考力・判断力・表現力】 3 社会的・職業的自立に向けたキャリア発達を支援する。【学びに向かう人間性】 4 家庭・医療・福祉等と連携し、望ましい生活習慣及び社会性を養う。</p>
--

<p align="center">重点教育目標</p> <p>生徒一人一人が自分のよさを認識し、自己を高める主体的な挑戦と自他を思いやり、相手の立場を尊重できる心のしなやかさをもった人間性の育成を目指し、チーム力をもって推進する。</p>

KNOT2027		
自走するチーム	学びを深める授業づくり	共感できるつながり

教育方針
<p>1 生徒が安全で安心して学べる環境づくりに努める。 2 「しなやかな心」、「やりぬく力」の校訓に基づき、教育活動の充実を図る。 3 生徒一人一人が自分のよさを認識し、自己を高める主体的な挑戦をとおして、自分の進路を考え、進路実現ができる力を育成する。 4 多様な価値観が求められる社会を見据え、自他を思いやり、相手の立場を尊重できる心のしなやかさをもった人間性を育成する。 5 主体的、対話的な学びをとおして、正解追求型の授業から探究心の向上を図る授業へ移行する。 6 授業に当たっては、個別の指導計画に基づき、各教科の系統性や横断的な視点等をふまえた指導計画を作成し、授業設計と改善を図る。 7 地域との学びをとおして、社会との共有、連携を実現することでキャリア教育の充実を図る。 8 生徒が災害等から命を守る防災教育の充実を図る。 9 卒業後の地域生活において、心身ともに健康で豊かな生活が営めるよう保健・安全教育の充実を語る。</p>

経営方針
<p>1 職員個々の力と組織力を融合し、対話と共有、チームワークを重視した学校経営に努める。 2 働き方改革をチームで推進し、具体的な取組を行うことにより、成果の見える化を目指す。 3 職員一人一人が健康で職務に当たれるよう心理的安全性を担保した環境づくりに努める。 4 職員一人一人がカリキュラム・マネジメントの視座をもって教育課程の検証を行い、教育課程検討委員会が中心となって改善と充実を図る。 5 保護者、地域と連携し、社会資源を活かした教育活動を推進するとともに、関係機関との連携を深め、地域のセンター機能を担う。 6 職員の専門性と資質の向上を図るため、校内研修の充実を図る。 7 安全安心な教育活動の推進を目指し、学習環境の整備に努める。 8 災害等を想定した危機管理マネジメントに努める。 9 教務と事務部の連携を図り、円滑に業務推進するとともに、金銭や個人情報等の事故防止に努める。</p>

指導の重点
<p>1 学びを深める授業づくり 生徒の資質・能力の向上につながる学びの追究 2 コミュニティスクールを活用した地域協働の実践 生徒の主体的な学びからの自己効力感、達成感 3 S-TEAM教育の継承 生徒の探究心の向上とSDGsの推進（新たな挑戦）</p>
具体的な方策
<p>■パズル型の学びからブロック型学びへの移行 カリキュラム・マネジメントの視座をもって、2年後を見据えた教育課程の編成を行う。</p>

経営の重点
<p>1 開校10周年以降の学校経営を見据え、本校の伝統を守りつつ、新たな時代への挑戦。 2 地域や関係機関との連携を深め、学びを保障できる体制づくり。 3 学校運営協議会等連携を深めることにより、地域とともに創る学校づくりを推進。</p>
具体的な方策
<p>□対話と共有、協働を重視したチームづくり 生徒や保護者、教職員、地域の方々の思いを1つにし、ウェルビーイングを追究する。</p>

令和7年度研究主題	セルフデュース2.0を目指して(3年次)
-----------	----------------------

KNOT2027

伝統を守りつつ、新たな時代に向けて挑戦する。

GDの解説

自走するチーム

学びを深める授業づくり

共感できるつながり

①チーム力の向上

教職員個々の力と組織力の融合

専門性 対話 協働
チーム力
挑戦する気持ち
リスペクト
コミュニケーション

②働き方改革

ぐっとLifeとぐっとjob

➡ 教育活動の質を上げる

できることから見える化する

③働きやすい職場づくり

相手を思いやり、立場を尊重する
対話と協働

①主体的、対話的な深い学びの推進

■ 授業設計と改善

■ 協働的な学び ■ 個別最適な学び

②生徒の発言を増やす授業づくり

インプットからアウトプットへの移行

③自己を高め、挑戦できる教育

不透明な社会、多様な価値観

失敗を恐れず、生徒の「やってみよう」
を積み重ねる

知識
技能

思考力
判断力
表現力

学びに
向かう
人間性

カリキュラム・マネジメント視点

①互いの顔が見える保護者との連携

目的と根拠を丁寧説明する
初期対応とチーム力
信頼関係の構築

②時代に合ったPTA活動

組織と活動内容を見直し
➡ win-winな相互関係

③地域とのつながりと発信

地域社会とともに創る学校
■ 地域の人
■ 社会資源等を活かした
教育活動の推進

ウェルビーイングの追究